1年	科目	総合英語B	講義	後期	担当	1-1, 4, 5　村上真理 1-2, 3　藤井数馬
全学科共通		General English B	必修	1履修単位		1-1, 4, 5　MURAKAMI, Mari 1-2, 3　FUJII, Kazuma

授業の概要

中学3年生、および高専1年前期までの既習事項を土台にして、4技能を統合した英語力の向上を目指す。授業では、検定教科書の他、音声教材や多読、多聴教材を適宜使用していき、授業理解度は試験で判断する。授業では、教科書の読解、音読、筆写の他、単語テストを定期的に行い、そのテストの結果は成績評定の一部とする。さらに、英語のインプット量が教科書だけでは不足するため、英語多読（多聴）も行っていき、その理解度は試験で評価する。また、学びを深めるために協同学習（ペア学習、グループ学習）も適宜取り入れていき、協同的に学ぶ姿勢も英語コミュニケーション能力の一部として養成していくので、積極的な授業参加を求める。

		目標	説明
本校学習・教育目標（本科のみ）		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢
プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）			
実践指針（専攻科のみ）			

授業目標

教科書の英文を読解し、大意を把握できる。
音読や筆写をとおして、英語の語感や、英語を頭の中で和訳せずに英語を英語としてとらえることができる。
前期の総合英語Aと1年間を通して、総合的にはTOEIC Bridgeで130点以上の英語力を身につけることがきる。
YL 1.2以下の多読教材を、wpm=100程度のスピードで読め、7割以上の理解ができる。
1年間で最低40,000語以上の多読を授業内外で行うことができる。

授業計画

第1回	ガイダンス	ガイダンス、How to Cure a Cold
第2回	Lesson 7	How to Cure a Cold
第3回	Lesson 7	How to Cure a Cold / TOEIC Bridge演習
第4回	Lesson 7	How to Cure a Cold / TOEIC Bridge演習
第5回	Lesson 8	The Ninth Synpohony in December / TOEIC Bridge演習
第6回	Lesson 8	The Ninth Synpohony in December
第7回	Lesson 8	The Ninth Synpohony in December
第8回	後期中間試験	英語多読試験を含む
第9回	テスト返却、Leeson 9	The Fosbury Flop
第10回	Lesson 9	The Fosbury Flop
第11回	Lesson 9	The Fosbury Flop
第12回	Lesson 10	Let's Change Our Way of Thinking
第13回	Lesson 10	Let's Change Our Way of Thinking
第14回	Lesson 10	Let's Change Our Way of Thinking
	後期期末試験	英語多読試験を含む
第15回	テスト返却	テスト返却、テスト解説、授業アンケートなど

評価方法と基準	定期試験（後期中間、後期期末）および課題試験、英語多読試験　70% TOEIC Bridge 10%　英語多読ポートフォリオ（読破状況）　5% 小テスト（英単語試験等）10% 平常点（授業態度、提出物、忘れ物等）5% 6割以上の修得で合格とする。
教科書等	『New One World Communication I』（教育出版）、『New ONE WORLD Communication Ⅰ WORKBOOK』（教育出版）、『フェイバリット英単語・熟語　コーパス3000』（東京書籍）、『TOEIC Bridge公式ガイド＆問題集　新装版』（TOEIC運営委員会）、英語多読多聴用図書、英和辞典
備考	使用教材は同じであるが、授業担当者が2名いるため、状況(クラス毎の習熟度や、学習意欲・態度の差、授業担当者の授業方針等)によって進度やテスト範囲が異なる場合がある。各授業担当者から指示を受けること。『TOEIC Bridge公式ガイド＆問題集』は、適宜授業内で演習用として使うので、毎時間持参すること。なお、夏休みの課題としても用いることがある。『フェイバリット英単語・熟語　コーパス3000』は授業内小テスト用や夏休み課題用や自習用として使う予定である。なるべく分かりやすい授業を心がけるが、分からない箇所があれば、積極的に質問をすること。 1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。